

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 11010030

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○既設町営住宅内部給水給湯管改修 潮見・新町・単身者—3団地13棟
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	既設町営住宅の維持		#N/A	
事業目標	屋根葺替改修3団地17棟 外壁防水改修3団地9棟 外壁塗装改修1団地1棟	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	有 公営住宅等長寿命化計画	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	○既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 潮見団地—5棟 単身者住宅—6棟 旭日団地 —7棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 潮見団地—5棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 単身者住宅—6棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—2棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—3棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—1棟
	○既設町営住宅団地外壁防水改修工事 潮見団地—5棟 日の出団地—2棟 新町団地—2棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 潮見団地—5棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 日の出団地—2棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 新町団地—2棟		既設町営住宅外壁塗装改修工事 旭日団地—1棟
	○既設町営住宅団地外壁塗装改修工事 旭日団地—1棟					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	95,973	28,324	15,403	22,094	15,717
	財源内訳					
	国庫支出金	40,829	12,746	6,931	8,959	5,698
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	55,144	15,578	8,472	13,135	10,019	
一般財源	55,144	15,578	8,472	13,135	10,019	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	42,468	27,510	14,958	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	20,756	13,277	7,479		
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	21,712	14,233	7,479			
特定財源の名称	社会資本整備総合交付金	(実施内容等) 潮見団地 屋根葺替改修 5棟 外壁防水改修 5棟	(実施内容等) 単身者住宅 屋根葺替改修 6棟 日の出団地 外壁防水改修 2棟	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	10棟	8棟	5棟	3棟	1棟
	年度達成率	97%	97%	0%	0%	0%
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	29%	44%	44%	44%	44%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	評価者	管理職 職氏名	町有施設整備室長	宇野 安久
		評価者	作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅入居者・町営住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既設住棟の確保	
【抱える課題やニーズは】	建替までに相当の期間を要する団地住棟に対する適切な維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な維持管理による居住環境の向上と居住住棟の長寿命化	① 実績棟数 改修棟数の実績	目標年度	平成26年度
			目標値	8棟
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良好な住環境と既存ストックの長寿命化の確保	②	実績値	8棟
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、町営単身者住宅6棟の屋根葺替工事及び町営住宅日の出団地2棟の外壁防水工事を実施した。	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	既設住棟、住戸について、適切な維持管理による良好な住環境を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適切な維持管理により、良好な住環境が確保され既存ストック住宅の長寿命化が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	入札によって事業費が抑制されたこと及び改修工事により維持管理費が抑制されたことは効率的と判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

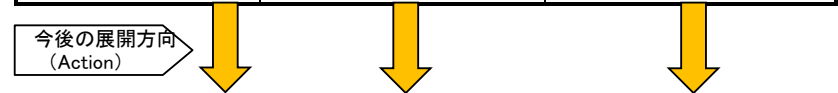
公平	判断の理由	事業実施により、良好な住環境が確保されることは公平であると判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公営住宅ストックの長寿命化に資する計画的維持管理、修繕及び居住環境向上の住環境整備は、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
居住性や安全性が確保され長期的な活用を図るべき公営住宅について、長寿命化型改善事業による住環境整備は必要であり、継続、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止